

令和4年3月18日

保護者の皆様

徳島市福島小学校
校長 藤島小百合

令和3年度 福島小学校学校評価について(お知らせ)

早春の候、保護者の皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。本年度も、本校教育にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

さて、本年度の学校評価における7つの重点目標への取り組みと、次年度の改善策についてお知らせいたします。詳しくはホームページにも掲載しておりますのでご覧ください。

重点目標	本年度の取り組み・結果	次年度の改善策等
①確かな学力を身に付けた子どもの	家庭学習は9割以上が行っている。 ICTを用いた学習により主体的に学ぶ児童が増えているが、自分の考えを表現することに課題	○自分の考えや意見を発言できる学習活動の充実
②豊かな心で助け合える子どもの育成	あいさつ大会は効果があったが、気持ちのよいあいさつの定着には至っていない。 職員間ではポジティブな声かけへの意識が高まってきているが、児童の実感と開きがある。	○ポジティブな行動支援の推進 ○児童の実態に応じた人権教育の実践
③健やかで、たくましい子どもの育成	9割以上の家庭で、早起き・朝食など、規則正しい生活習慣が身に付いている。 コロナ対策のため、活動内容や方法に配慮しながら体育授業を進めている。	○運動しやすい環境の整備と、進んで運動をする雰囲気づくり ○食育の推進
④一人一人を大切にす指導	個別の支援を必要とする子どもたちが学習しやすい環境が整ってきている。 運営委員会の児童や教師の働きかけで、当たり前のできる児童が増えてきている。	○個々に応じた指導支援の充実 ○「ありがとう」の広がる学校づくり
⑤安全・安心な学校づくり	名札・上靴着用や校内での右側歩行について、改善してきているが一部徹底できていない。 避難訓練後にワークシートを活用するなどし、防災について啓発を図るようにした。	○校内での安全な歩行指導 ○防災についての家庭への啓発
⑥保護者・地域等と協力・連携した学校づくり	コロナ対策に配慮しながら、できる限り校外へ出での学習や体育参観等の行事を実施したが、授業参観は一度も実施できず、地域の方とのふれあいは少なくなっている。	○地域との交流方法の模索 ○学校ホームページの充実
⑦効率的で働きやすい職場づくり	教職員間でグループウェアを使った情報共有ができるようになった。 退勤時刻については約5割がマイナス評価と課題が大きい。	○声をかけ学び合う職場づくり ○業務の精選と超過勤務時間の改善